

第 22 回議会報告会 報告書

地 域 名	関宮地域		
年 月 日	令和 4 年 4 月 28 日（木）	会 場 名	まちづくり交流センター関の館
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 5 分
参 加 数	男性 29 人	女性 1 人	合計 30 人
班 長	淨慶 耕造	司 会 者	淨慶 耕造
報 告 者	全員	書 記	川瀬 稔
班 員 名	足立 隆啓、谷垣 満、川瀬 稔、淨慶 耕造		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 居空間構想とはどういうものなのか理解できない。特区もよくわからなかったが二の舞になるのではないか。	① 居空間構想はまちづくり計画の中で定められたもので、現実の社会のほかに、インターネット空間を活用して人のつながりを創ろうとするものだ。しかし格差を生まないようデジタルに苦手な人への配慮を議会は求めている。	
	② 現在の 2 万 2 千人の人口が 2050 年に 2 万人では寂しすぎる。2 万 5 千人とか前向きな検討はできないのか。	② 国の人口動態では 2045 年には 1 万 3 千人と予想されている。2 万人は大きな挑戦だ。それでも知恵を絞って目指そうという意思表示だ。	
	③ 小さな拠点整備事業 7, 000 万円の予算が組まれた。まだ地域の皆には何をしようとしているのかわからない。一人走りしているように見える。住民の要望に耳を傾けていないのではないか。	③ この計画は関宮のまち協の計画をベースに取り組まれたと理解している。医療・介護・交通・買い物などの中心ができることに期待している。ただ地元の人間がどれだけ自分の意見を言って、どういう風に現状を変えていこうとするのが計画の中に入らなければならないと思っている。	
	④ 議会は 7, 000 万円の予算を承認したのだが、中身を教えてほしい。市が出すのか、国が出すのか。	④ 市債と一般財源でこの金は作っている。民間投資には国の補助金も入ってくる。補足すると今年度の 7, 000 万円は土地造成設計管理委託費が 1, 000 万円と関宮メリヤス改修工事に 5, 500 万円、設計業務で 500 万円だ。	

	市 民	対 応
	⑤ 地元はエイドーホールの代替施設を要望してきた。市長は住民と一緒に計画を創ろうと言ってきた。僕たちの知らないところで高齢者住宅計画が出てきた。どこでだれが決めたか。これは説明会で聞こうと思う。新しい施設ができるまで活動の場が失われるでは困る。年次計画があると思うので議会のチェックを望む。	⑤ 建設期間に皆さんの活動の場が奪われるではいけない。十分伝えていく。またこの計画は旧関宮町全体のものだと思っている。出合・熊次の考えも反映されると思う。
	市 民	対 応
意見交換会での質疑	① 子どもの数がどんどん減っている。若者に住んでほしいと言っているが、一時は里帰り出産を控えてほしいと言ったこともあった。安心して子どもが産めない地域に若者は住まない。八鹿病院の産科・小児科の体制はどうか。 ② いつも医師確保と言われながら実現しないのはなぜか。市内の医療体制に不安を感じている。 ③ 地区の防災だが、関宮地域局でその体制がとれるのか。自主防災組織を束ねることができるか。防災を地域丸投げでは困る。人数を増やし抜本的に地域局の在り方を考えてほしい。 ④ 八木谷は区の防災計画がほぼ出来上がっている。昨年急傾斜地や土砂災害危険地域の見直しがあって、公会堂や地域おこし協力隊の定住住居がレッドゾーンの中にある。要望書を市に提出しているが県の事業になっている。防災工事が進むように議会も後押ししてほしい。	① 八鹿病院の産科で出産できる体制は整っているが、ただハイリスクな出産については、こうのとりの周産期センターにお願いしている。小児科がなければ産科も機能しないので、小児科の医師確保は苦労している。収益の上がりにくい分野であるが構成市が負担を増やしても守らなければならない。病院の令和3年度の赤字幅は減少したが内部資金は年々減っている。経営改善も望まれるところだ。 ② 研修医制度が変わったことが医師不足につながっている。県から派遣を受ける養成医や奨学金制度で若い医師は確保できるが患者を増やせる中堅の医師の存在が必要とされている。 ③ 意見としてお聞きする。 ④ 要望書は拝見している。レッドゾーンの中に避難所がある地域もあり、調査や勉強しながら災害に強いまちづくりに努力したい。

	市 民	対 応
その他 (提言など)	① 関宮学園については、開校してからコロナ禍で行事ができず、評価するところにはいかない。入学式や卒業式は一生に一度なので子どもにとっては代えがたいものがある。 ② 子育てのしやすいまちと言っているが、若者の定住政策、とくに住宅政策が大事だと思う。若者が豊岡市、朝来市に出ていくようではだめだ。 ③ ロシアのウクライナ侵攻に反対する決議を上げられているが、具体的な支援はしているのか。	① 「コロナ禍でも教育をあきらめない」と教育長も言っている。子どもを守り成長させるのに何がいいか、保護者も地域も議論してほしい。 ② 意見としてお聞きする。 ③ 議会としてはしていない。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和4年5月20日

報告者 4班 班長 浄慶 耕造